

ふるさと大好き妻木っ子

～地域と学校が連携し、よりよい地域人を育てる～

ふるさとを愛し、誇りをもつ子

妻木小学校は、恵まれた自然、伝統ある歴史、特色ある産業などの地域資源を学校教育に取り入れて、地域と共にある学校づくりを目指しています。学校運営協議会では、学校と地域の願いを共有しながら、3つの部会（①生活・学習支援部会②安全・環境整備部会③地域交流・ボランティア部会）で活動をしています。生活・学習支援では、地域指導者の方より「むかしの遊び」「野菜作り」「折り紙教室」「ろくろ体験」「抹茶教室」「城山登山」などを学び、さまざまな体験を通して地域の財産を伝承していきます。安全・環境整備では、PTAと連携して登下校の見守りや施設整備に取り組みます。ボランティアを募り地域や学校の花壇の整備も行っています。また地域の福祉施設での合唱交流会や、運動会への招待状を書いて地域の方との交流を深めています。子ども達は、地域に貢献できる喜びを感じながら、ふるさとへの愛着と誇りを育てています。



流鏝馬

400年の歴史を受け継いで

妻木町の八幡神社では、毎年10月に、土岐市の無形民俗文化財の流鏝馬が奉納されます。妻木小学校の4、5、6年生の子ども達が乗り子、巫女を務めます。6名の男子が木曾馬にまたがり、陣笠に陣羽織、古式衣装を身にまとい、「ほほーい」のかけ声を上げながら、境内の参道を駆け上がっていきます。一昨年からは、江戸時代の花がさをかぶり、弓矢よけの色鮮やかな母衣（ほろ）を背負ったものも再現され、勇ましく疾走する姿に歓声があがります。神楽殿では、巫女を務める女子が地域と氏子の繁栄と健康を祈願して、神楽舞を奉納します。子ども達は、夏休み前から土岐市流鏝馬行事保存会の方よりご指導を受けながら、歴史の担い手として練習に励みます。

